

## 4年間の流れ

### 子ども未来学群とは

高度情報化が進み、人間関係が希薄になっている現代社会。こうしたなか、子どもたちの健やかな成長や発達を確かなものとする教育者の養成を目指し、三つの本学独自のカリキュラムを導入しました。「地域連携子ども学」では、自然や行政、地域住民と子どものつながりという観点から教育を研究。「現代社会子ども学」では、人権やメディアなどさまざまな角度から子どもを捉え、子どものより幸せな未来を探ります。「フィールドワーク」は、自ら考え行動し、さまざまな体験を重ねながら自分自身を育てることが目標。教室内で得る知識とは違った解決能力や実践力を磨いていきます。

		1年次	2年次	3年次	4年次
共通専攻科目	子ども未来学群	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域連携子ども学 子どもと野外体験</li> <li>●現代社会子ども学 子ども未来学入門 子どもと人権</li> <li>●フィールドワーク フィールドワークⅠ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会子ども学 子どもとコミュニケーション 子どもとメディア</li> <li>●フィールドワーク フィールドワークⅡ・Ⅲ 自然学習フィールドワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域連携子ども学 子どもと芸術 子どもと環境文学</li> <li>●現代社会子ども学 子どもと現代社会 子ども未来学演習Ⅰ・Ⅱ</li> <li>●フィールドワーク フィールドワークⅣ 子育て支援フィールドワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代社会子ども学 子どもと地域共生 子ども未来学演習Ⅲ・Ⅳ</li> </ul>
	小学校教諭		子ども英語Ⅰ・Ⅱ 子ども体育	教育実習指導 教育実習Ⅰ・Ⅱ 児童文学研究	教職実践演習 教育実習Ⅲ
	幼小共通科目	音楽表現 器楽 教育原理 教育心理学 数の世界Ⅰ・Ⅱ 子どもと言葉 美術表現	発達教育相談 教育方法と技術 子どもと生活 特別支援教育概論 伴奏法 図画工作 児童文学	教育制度論	臨床心理学
保育士専門科目	社会福祉 保育原理 保育の内容と方法Ⅰ(健康) 保育の内容と方法Ⅰ(言葉) 保育の内容と方法Ⅰ(人間関係) 保育の内容と方法Ⅰ(環境) 保育の内容と方法Ⅰ(表現)	教育実習Ⅰ 教育実習指導 保育の内容と方法Ⅱ(健康) 保育の内容と方法Ⅱ(言葉) 保育の内容と方法Ⅱ(人間関係) 保育の内容と方法Ⅱ(環境) 保育の内容と方法Ⅱ(表現) 相談援助 保育内容総論	児童家庭福祉	教育実習指導	
専攻専門科目	児童教育	文学教材読解 教職論 子どもと社会	国語科の指導法 社会科の指導法 算数科の指導法 生活科の指導法 教育課程論 子どもと家庭 中等教育課程論 身近な科学 児童理解と指導	理科の指導法 音楽科の指導法 図画工作科の指導法 家庭科の指導法 体育科の指導法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教科教育研究Ⅰ・Ⅱ 生徒・進路指導論 学校教育研究Ⅰ・Ⅱ 比較文化論 English Presentation 日本語の基礎	教科教育研究Ⅲ・Ⅳ 学校教育研究Ⅲ 児童英語教育
	幼児保育	子どもの保健ⅠA・ⅠB 子どもの保健Ⅱ 保育者・教職論	保育の心理学Ⅰ・Ⅱ 保育・教育課程論 社会的養護 子どもの食と栄養 子ども文化論Ⅰ 保育表現技術(言語表現) 保育表現技術(造形) 保育表現技術(音楽)	保育実習ⅠA・ⅠB 保育実習指導ⅠA・ⅠB 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 障害児保育Ⅰ・Ⅱ 社会的養護内容 保育相談支援 家庭支援論 子ども文化論Ⅰ キリスト教保育 子育て支援論	保育実習Ⅱ・Ⅲ 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ 保育・教職実践演習

※上記内容は変更となる場合があります。

### 子ども学部 子ども未来学科 専任教員 ●専門

赤堀 方哉 教授 ●教育社会学	松永 章 特任教授 ●教育学	李 光赫 講師 ●牧会学
黒田 敏夫 教授 ●西洋哲学	香月 正登 准教授 ●国語科教育	紙本 裕一 講師 ●算数科教育
田中 俊明 教授 ●心理学	桑畑 洋一郎 准教授 ●社会学	広瀬 綾子 講師 ●教育学
新川 由美子 特任教授 ●理科教育	山本 一誠 准教授 ●音楽教育	三澤 恵 講師 ●保育学
田村 務 特任教授 ●美術	横山 修 准教授 ●位相幾何学	渡邊 尚孝 講師 ●教育心理学
原田 博 特任教授 ●体育科教育	吉島 豊録 准教授 ●社会福祉	